

美しく微細 雪結晶の世界

吉田 NPO法人が写真展



ゆめタウン吉田で開かれている雪の結晶の写真展

雪の結晶の魅力を紹介する写真展が、安芸高田市吉田町のゆめタウン吉田の1階で開かれている。子どもに科学の楽しさを発信するNPO法人ふくい科学学園安芸高田支部の主催で29日まで。無料。28、29日は雪のレプリカを使い、顕微鏡で結晶が観察できる。法人は福井大名誉教授の香川喜一郎さん(76)と高宮町佐々部IIが理事長。顕微

鏡に付属したドーナツ状の発光ダイオード(LED)照明に赤や青、緑、黄のセロハンを張って光の反射で結晶を色づかせる手法で、微細な構造を浮かび上げさせている。写真は同町に降った雪の結晶が中心で、雪ができる仕組みや結晶の種類もパネルで解説している。香川さんは退職を機に福井市と安芸高田市の2拠点

で、出前授業や実験の催しを続けている。「安芸高田は冬の気温が低く、結晶観察に適している」と香川さん。甲田町下小原の小学3年田坂俊汰さん(8)は顕微鏡をのぞき「色が付くこともきれい」と喜んでいた。(胡子洋)

中 國 新 聞

2021年(令和3年)8月27日(金曜日)

北 地 域



28日・29日の体験コーナーでは、新たに簡易ルーペ顕微鏡を用い、雪の代わりに雪のレプリカを使って、スマホで雪の結晶を撮影する方法を説明し、自分のスマホに雪のレプリカを記録してもらいました。た。。



雪のレプリカを観察する女性グループ



切り絵で雪を作る幼稚園児二